

この出入口のこと知ってる？

阪神高速の出入口再発見！

たかいだ「高井田」

13号東大阪線「高井田出入口」



20年に1度行われる伊勢神宮の式年遷宮で用いられる大きな菅笠(菅御笠)「菅御笠(すげのおんかさ)」(写真左側)。「菅御笠(すげのおんかさ)」(写真右側)。本殿から新宮に向かう遷宮の渡御列で威儀を正す道具として使用される。下附(かぶ)された物が「深江郷土資料館」に展示されている。

菅笠の名産地・深江では、古くから 大嘗祭などで用いられる菅笠を奉納してきました

深江で菅笠を買って伊勢参り

「大坂はなれてはや玉造、笠を買うなら深江が名所」と伊勢音頭に歌われた、大阪市東成区の深江地区。13号東大阪線・高井田出入口の南に位置する、都会の中の住宅地である深江では、今も昔も、菅笠をはじめとした菅細工がつけられています。「深江菅細工保存会」のみなさんに聞きました。

約2000年も前のこと、低湿地帯である深江には良質の菅草が豊かに自生していました。その菅を求めて、第11代垂仁天皇の御代に、大和の国の笠縫(かさぬい)郡から笠を縫うことを職業とした笠縫一族が深江に移り住んだと伝わります。一族は代々、菅笠をつくったことから深江は「笠縫島」と呼ばれるようになり、万葉集などにもその名が登場します。

江戸時代になって伊勢参りが盛んになると、深江の菅笠は広く知られるようになります。大坂・玉造を起点として伊勢神宮へ向かう暗越奈良街道は深江を通るため、人々はこぞって道中用に菅笠をここで買い求めたのです。「摂津名所図会」にも、菅笠を商う店が立ち並び、多くの人が菅笠を買って伊勢へ向かう賑やかな深江の様子が描かれています。

江戸時代末期には、お茶事に使われる釜敷きや瓶敷きなどの菅細工もつくられるようになりました。

当時の菅笠は、雨具として日よけとし

エッセイ 春 季節の言葉

コロナ禍で出版業界も大きく変わったようだが、それでも新聞の広告を見ていると、文庫本はいまもたくさん刊行されていて、流行作家の書き下ろし作品がいきなり文庫本で刊行されることも珍しくない。

だが文庫本とはもともと古今東西の名著を安価に出版することを目的に創刊されたもので、私が大学生だった昭和四〇年代には、戦前や戦後まもなく出た版をリプリントした文庫本がたくさんあって、そんな本にはまだ旧字体の漢字が使われていた。だから我々の世代にはこれで旧字体を覚えたという人も多いはずで、私もこれで漢字の旧字体に興味をもったもの

「櫻」の覚え方

漢字の旧字体には、複雑で覚えにくい形のものがたくさんある。ところがこれに便利な覚え方があることを、高校の先生から教わった。たとえば「壽」の旧字体である「壽」は、「サムライの笛は一寸チ」と覚える。

「土」の「フ・エ」は「一寸チ」として「壽」と書く、結果として「壽」という字になるというわけだ。

同じデんで、「櫻」は「二階の女が気にかかる」と覚えよと教わった。「桜」の旧字体「櫻」は二つの《貝》と《女》が《木》ヘンの横にあるからで、この覚え方を知ってから、「櫻」という漢字を見ればなまめかしく

華やかなイメージを感じるようになったものだが、「桜」ではあいにくそうはいかない。

「櫻」は意味的範囲を表す《木》と、発音を表す《嬰》を組み合わせた漢字で、その《嬰》、つまり右側にある部分を草書体でくずして書いた形を楷書にしたのが、「桜」という字形である。「桜」では女は二階にいない。「ツメ」でも磨いているのだろうか。

戦後に国語と国字の改革が行われ、それまでは俗字とか略字と呼ばれていた字形が正規の字形となった。簡単に書けるようになったのはいいことだが、しかし人々がそれまで漢字に対して持っていた豊かなイメージのふくらみが、簡略化によってしぼんでしまった。残念なことである。

阿辻哲次

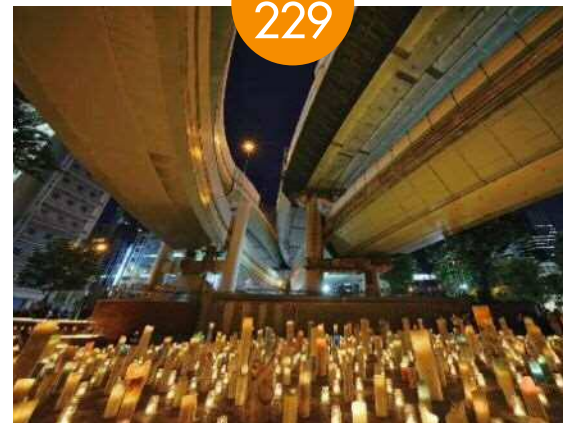
あつじてつじ (京都大学名誉教授、漢学文化研究所所長)
1951 (昭和26) 年大阪生まれ。京都大学文学部中国語学中国文学専攻卒業。同大学大学院博士課程修了。文化庁文化審議会国語分科会漢字小委員会委員として新たな常用漢字表の作成に参加した。古代文学学についての知見と、パソコン・スマートフォンという現代テクノロジーの媒介としての漢字を研究する。著書に『漢字學―「説文解字」の世界』『漢字の文化史』『漢字のはなし』『漢字の道楽』『戦後日本漢字史』『角川 新字源 改訂新版』(編)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、記載内容の変更や中止となる場合があります

関西とともにー「阪神ハイウェイ」

HANSHIN HIGHWAY

2023 SPRING
VOL.
229



～阪神高速のある風景～
第2回 阪神高速フォトコンテスト優秀賞作品

CONTENTS

エッセイ●季節の言葉
「櫻」の覚え方 阿辻哲次

1 この出入口のこと知ってる？●阪神高速の出入口再発見！
たかいだ
13号東大阪線「高井田出入口」
菅笠の名産地・深江では、古くから
大嘗祭などで用いられる菅笠を奉納してきました

4 関西の名工
近藤太一さん (桶職人)
洗練された美しさと、道具としての
実用性をあわせ持つ、京都の桶

6 教えてセンセイ
山田雄司さん (三重大学文学部 教授)
精神を鍛錬し、人間性や知力、体力を養い、
実践するのが忍者なのです

8 阪神高速の取り組み
高速道路
リニューアルプロジェクトを
進めていきます

10 ちょっと行ってみよう！関西うまいもん
淡路島レタス ●兵庫県南あわじ市

12 Hanshin Highway TIMES
3号神戸線(京橋⇄摩耶)リニューアル工事・終日通行止のお知らせ
阪神高速の料金所がETC専用になります
第3回 阪神高速フォトコンテスト開催中



表紙イラスト (東大阪市役所展望台から東大阪線高井田出入口方面を望む)
青山大介：昭和51年神戸市生まれ、都市の鳥瞰図絵師。代表作みなと神戸パースプ
イマップ他、神戸市の津波避難情報板に採用。



★深江郷土資料館

深江の歴史や文化を紹介する深江郷土資料館。式年遷宮の「菅笠」「菅御笠」、大嘗祭の「御菅蓋」も展示される。資料館の前には菅田があり、夏、2mほどまで成長した菅は刈り取られ、菅細工の材料となる。2022年には江戸時代に庄屋をつとめた「旧幸田家」が、資料館の別館としてオープンした（別館の見学は要予約）。



★法明寺

文保2（1318）年、融通大念仏宗（ゆうづうだいねんぶつしゅう）の中興の祖・法明上人が開基。法明上人は深江村の生まれ。境内にある、雁塚（かりつか）と呼ばれる二基の石塔が有名。「弓の名手が狩りに出かけて先頭の1羽を射ち落とすが、なぜか雁に頭がなかった。次の冬、1羽の雌の雁を射ち落とすと羽の下から乾いた雄の雁頭がでてきた」という話を聞いた法明上人が雁の夫婦愛に心を打たれ、その冥福を祈るために建立したといわれる。



★深江稲荷神社

深江村の氏神で、鑄物御祖神社の別名もある。社伝によれば、第11代垂仁天皇（紀元前60年～紀元後70年）の頃に、笠縫部の祖が笠縫島の宮浦に下照姫命を奉祀したのがはじめて、その後、和銅年間（708～715）に山城国稲荷神社を勧請したとある。慶長8（1603）年に豊臣秀頼が社殿を改築したと伝えられる。境内には、万葉集に残る和歌「四極山 うち越え見れば 笠縫の島 漕ぎ隠る 棚無し小舟」（高市黒人）の歌碑がある。また、大阪府史跡「摂津笠縫邑跡」の碑、大阪市顕彰碑「深江菅笠ゆかりの地」も境内にある。



一針一針、手で縫い上げる菅笠

実は、深江には菅細工づくりの技を絶やすわけにはいかない理由がありました。昔からここ深江は、歴代天皇の即位に伴う皇室行事「大嘗祭」や20年に1度行われる伊勢神宮の「式年遷宮」で用いられる菅笠を奉納してきたためです。1988年の会の発足時も、「1993年の式年遷宮が近づいているので、つくり手を育成したい」というのが当初の目的でした。菅細工づくりを代々の家業とし、唯一の担い手でもあった幸田正子さん指導のもと、集まったメンバーたち

て野良仕事の必需品でもありました。菅笠は雨が当たっても撥水性がよく、また一定の雨水を菅が吸うことで膨張して漏れません。夏場には、菅が乾燥して風通しがよく快適です。深江では菅笠は買う物ではなく、どの家でも自分でつくってみんなが使っていたんですよ。ところが明治時代になると、洋傘や麦わら帽子の登場によって、菅笠の需要は減少していきます。同時に宅地化も進み昭和30年代前半には深江に菅田がなくなってしまう。菅笠をつくる人も激減し、一時は菅細工に携わる家はわずか一軒だけになっていました。

このままでは深江の伝統工芸が途絶えてしまうと、1988（昭和63）年に地元の有志らが発足させたのが、「深江菅細工保存会」です。菅笠づくりは菅の選別から始まるのですが、大嘗祭のための菅笠は特にいい菅だけを選びました。水に湿らせて割れやヒビがある菅を省いた後、漂白と防虫のために室に入れて硫黄で蒸します。それらの作業がすんだら、竹製の笠の骨組みに菅をらせん状に巻き付けて「いつり掛け」をします。そして、菅がてっぺんに向けて縦に付くよう縁に竹ひごと糸で固定する「菅掛け」を行います。その後、一針一針、丁寧に糸で縫い上げていくのです。直径1m20cmの御菅蓋をつくり上げるには、10人ほどのメンバーが朝昼晩のシフトを組んで2

は、技の習得に励んでいました。そのようななか、1989年昭和天皇が崩御されました。そのため、1990年の大嘗祭で使われる「御菅蓋」という大きな菅笠づくりに急ぎ携わらせていただくことになったという経緯がありました。菅には邪気を浄める力があるとされ、大嘗祭で天皇の頭上に御菅蓋をかざすことで邪気をお祓いするという意味があるといわれています。

私たちつくり手は、大嘗祭や式年遷宮の菅笠に携わる際には、しめ縄を張った空間で、白装束の正装を身に付けて作業にあたります。2019（令和元）年11月に行われた大嘗祭のための御菅蓋をつくるときもそうでした。大嘗祭は一世一代の行事です。名誉なことであると同時に、やはり非常に緊張しました。

菅笠づくりは菅の選別から始まるのですが、大嘗祭のための菅笠は特にいい菅だけを選びました。水に湿らせて割れやヒビがある菅を省いた後、漂白と防虫のために室に入れて硫黄で蒸します。それらの作業がすんだら、竹製の笠の骨組みに菅をらせん状に巻き付けて「いつり掛け」をします。そして、菅がてっぺんに向けて縦に付くよう縁に竹ひごと糸で固定する「菅掛け」を行います。その後、一針一針、丁寧に糸で縫い上げていくのです。直径1m20cmの御菅蓋をつくり上げるには、10人ほどのメンバーが朝昼晩のシフトを組んで2

カ月以上かかりました。てっぺんに向けて菅が自然なラインですつと垂直に上がっていくように仕上げるのが、いちばん気を使うところです。

後世まで伝えていく、菅細工の技

一時は深江から消えてしまっていた菅田も、地元のあるお宅の庭先に残っていた菅をプランターで増やして復活させました。2007年、南深江公園の一角で菅の栽培を始めると同時に「深江菅田保存会」も発足。翌年からは、深江郷土資料館前の菅田でも栽培しています。10月に菅の苗を植え、翌年の夏に菅の刈り取りをします。これらの作業は、地元の深江小学校の授業の一環として児童たちともに行っています。小学校では修学旅行で伊勢神宮に



新天皇の皇位継承に伴って行われる皇室行事「大嘗祭」の際天皇の頭上にかざされる「御菅蓋」かんがい。



写真上／「深江菅細工保存会」のメンバーによる、菅笠。表側には太い菅を長いもの、短いものを交互に付ける。てっぺんまで残す菅は12本ほど。縫い上げながら、てっぺんに向けて菅を「すーっと隠していく」すなわち、菅の数を自然に減らしていくのが美しさのポイント。写真下／らせん状に「いつり掛け」された菅笠の裏側。菅に雨水がしみても、中心から外へくると水がゆっくり流れることで体には雨が当たらないようになっている。

三つ編みした裏に菅を付けていく「円座」（ざぶとん）や「釜敷き」は熟練の技を必要とする細工物。「小丸」と呼ばれる菅細工は、コースターとして使用するのにおすすめ。染色した菅をアクセントに使うなど、新しいデザインの作品も生み出している。菅細工は注文販売している。



写真左から、「深江菅細工保存会」の笠野英美さん、山路幸子さん、玉木京子さん。「何度つくっても完璧な作品はできないねとみんなで言い合いながら、よりよい菅細工をつくれるようにがんばっています」



★暗越（くらりごえ）奈良街道と道標

玉造から深江を通り、生駒山系の暗峠を越えて奈良までを結ぶ暗越奈良街道。大坂から奈良に通じる最短コースだった。街道沿いには今も道標がいくつも残り、大今里3丁目14番、旧街道と今里筋が交差するあたりには「いまざと ならみち」の道標と暗越奈良街道の大きな看板が設置されている。また、深江南2丁目20番先には道標と並んで「摂津名所図会」が描かれた「深江の菅笠」の碑もある。



★深江の段倉

深江界隈は、かつて低湿地帯だったことから、湿気が多く少しでも雨が続くとは洪水などにより水に浸かりやすい地域。そのため、石を高く積み上げた倉の中に、大切なものを保管した。この石を高く積み上げた倉が並んでいる様子を段倉と呼び、古き良き深江村の風景を今に伝えている。



★安堵の辻

沙弥教信が法明上人に「あなたは永年念仏を唱えながら、人々を助けてくれました。おかげで来年の6月16日の朝、極楽へ安らかに旅立つことができるでしょう」とお告げをした。上人はよいお告げを聞いたと喜び、お告げ通りにこった。上人が尊い僧に出会ったこの辻を「安堵の辻」と呼ぶようになったという。



★司馬遼太郎記念館

今年、生誕100年を迎える、作家・司馬遼太郎の自宅と、隣接する安藤忠雄氏設計の建物で構成される。地下1階、地上2階の構造で、約2万冊の蔵書が吹き抜けの高さ11メートルの壁面に収納されている。雄木林風の庭の小径からは、窓越しに司馬遼太郎の書斎を見ることができ、机には万年筆や推敲に使った色えんぴつなどがそのまま置かれている。



★東大阪市文化創造館

2019年に開館した公共文化施設。「最高の音響空間」をコンセプトにした1500席の大ホールでは、クラシックコンサート、オペラ、バレエなど多彩な公演が可能。300席の小ホールは、教室の発表会などに最適。遮音性、防振に優れた多目的室や音楽スタジオのほか、会議や研修などに利用できる創造支援室、茶道・華道での利用にも適した和室もある。